

Fri

Thu

鋼管・建材・線材
二次製品

鋼板・二次製品

Steel plate

Secondarily and tertiarily products

増の17万5000台と予測した。インドの同13%増をはじめ、減少してきた中国が持ち直して同6%増、北米も同4%増とし、日本は排ガス規制前の駆け込み需要などで同4%増と予想。減少は欧州、中東、ロシア・CIS・東欧などに止まる。鉦山機械は鉦山での投資抑制が継続され、本格回復には至らないも

要先となる油圧シヨベル、鉦山機械はフランス基調に転換する予想となっており、建機向け厚板需要も前年度よりペースは上がることに

地域別の油圧シヨベル需要見通しを見る。日本は同4%増の2万4000台。15年度の同23%減に続き、16年度も同4%減と下げたが、東京五輪関連

前の駆け込み需要も本年度前半に集中し、上期に傾斜した形ながら油圧シヨベルは増加する。ミニシヨベル、ホイールローダ需要は横ばいと見た。

西欧は同3%減の3万4000台。16年度は独、仏で需要は増加したが、17年度は欧州

中国(外資メーカー)は同6%増の3万2000台。西南が同10%増と全6地域で増加した。景気対策で15年度とは様相が一変、市場は大きく改善された。

インドを含めたアジア大洋州は同5%増の4万2000台。このうちインドは同13%増、インドネシアは同

合わせた生産を行って

西日本最大級の建材関連総合展「建築材料・住宅設備総合展KENTEN2017」が、国内最大規模のエクステリア総合展「関西エクステリアフェア2017」が、大阪市住之江区のインテックス大阪で行われた。来場者数は関西エクステリアフェアが2万3700人、KENTENが2万6000人。

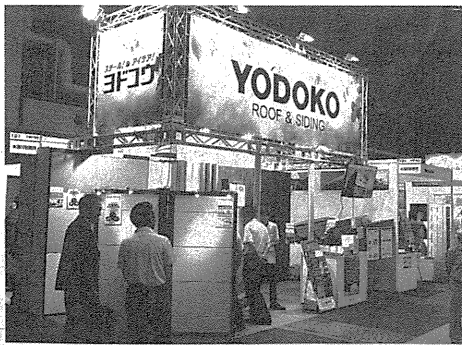
KENTEN・関西エクステリアフェア



中心に展示した写真⑤。淀川製鋼所は、新商品のカラータイプ「SUPERGLカラー」シリーズ、ヨド耐火パネル「グランウォール」などを紹介した。写真⑥。

「KENTEN(主催)日本建築材料協会(ほか)は143の企業・団体が出展。鉄鋼・金属関連では、JFE鋼板がクロモートフーラー鋼板「Jクラフト」シリーズを出展し、片山鉄建、津能鋼建、アイシー工業の屋

鉄鋼・金属関連企業が出展



インク工業会・橋本福徳代表幹事)特別講演「特殊環境(温泉地)におけるアルミニウム建材の耐久性調査」(軽金属製品協会・建材表面処理規格委員会表面処理技術研究ワーキンググループ風大介氏)も行われた。

関西エクステリアフェアは三協立山三協アルミ社、淀川製鋼所、LIXIL、YKKAP、タキロンシーアイ、積水樹脂、ダイケンなどが出展。主催者代表あいさつでは新室好宏実行委員長(アイシン会長)がこの展示会を新

しい気づきの場として活用してもらい、皆さんの力を結集して2万人以上の入場者数を達成したいと述べ、日本エクステリア工業会の庵原史会長(LIXIL理事)が祝辞を述べた。

200%増
5月出荷5%増101万本
全用途で前年同月上回る

ドラム缶工業会(理事長)小野定男・JFEコネクティナ(社長)によると、5月の200%増出荷本数は前年同月比5.1%増の101万1950本(2万3329本)となり、